

## 読谷いもぐるみ会議



「平和が大好き!」「子どもの未来を守ろう!」  
と練り歩く参加者=23日、沖縄県読谷村

## 子育て世代<sup>など</sup>70人 三線手に練り歩く

沖縄県読谷(よみたん)村で23日、「みるく世への道じゅねく(平和な世への練り歩き)」が行われ、約70人が三線(さんしん)や打楽器を手に、「子どもの未来を守ろう!」「平和が大好き!」と掛け声や歌などで戦争法案の廃案をアピールしました。

主催したのは、子育て世代でつくる「読谷いもぐるみ会議」。今回が初めてのとりくみです。全県に広がる「島ぐるみ会議」と、同村特産の紅イモから、会の名称を付けました。

主催者の城間真弓さん(36)は、子ども3人を連れて歩きました。「たくさんの友だちや知人が参加してくれてうれしい。このとりくみが、みんながいつまでも笑顔でいられるよう、平和に向けた一歩となるように」と語りました。

與那覇沙姫(よなは・さき)さん(30)は8歳の息子と一緒に参加。「友人のフェイスブックを見ているうちに政治に関心を持つようになった。戦争に正しいことではない。おかしいことはおかしいといえる世の中であるために、行動し続けたい」と笑顔で話していました。